大雪の麓～ひがしかわ的観光イズム

豊かな自然環境を楽しむ

今年はコロナによる規制がなく、夏休みや連休にもなれば多くの人が観光地等へ足を運んでいます。その中でもアウトドアやキャンプは人気ですね。人がたくさん集まるようなイベントや観光地を避け、家族や少人数の仲間で、自分たちで山や森・海・湖などで屋外レジャーを楽しむ人が、このコロナ禍以降増えてきています。もともと北海道の夏は例年多くの観光客が訪れます。近年はアウトドアブームも重なって、とくにキャンプ場では多くのテントを見かけます。東川町でもキトウシ森林公園のキャンプ場は、休みの日にもなれば多くの人で賑っていますね。

「HAC」にも多くの観光客が訪れています。やはり屋外でのアクティビティが人気で、とくに風を感じながら東川町の町並みや自然を堪能する目的で、レンタサイクルや「電動キックボード」のレンタルを多く利用いただいています。また、暑い日が続いていることもあり、忠別湖でのカヌーやSUP体験のほか、東川町の美味しい水の秘密をめぐる「水育ツアー」など、冷を感じる水系のアクティビティが人気です。これらも、北海道最高峰・旭岳をはじめとする大雪山系に降った雪が、ゆっくりと伏流水となって大地を潤し、旭岳源水や忠別湖、忠別川といった豊富な水資源を恵んでくれるからできることです。たくさんのアウトドアを楽しめる東川町ならではの環境ですね。

そんなアウトドアフィールドを後世にも残していこうと、たくさんの自然保護活動や環境活動がありますが、楽しみながら自然環境を考える環境スポーツイベント「大雪・旭岳SEA TO SUMMIT」が8月21日に開催されました。2011年に初開催され、コロナで２年間中止となったものの、今回第10回の記念大会となりました。忠別湖でカヤックをし、旭岳ロープウェイまで自転車（ロードバイクなど）で走行、旭岳の山頂を目指します。大会には道内外から90組・170名近くの選手が参加。レース形式ではなく、この豊かな自然環境を楽しみながら、そして自然への感謝の気持ちをもって、アウトドアスポーツを楽しみます。町民のみなさんは大会に参加するだけでなく、地元だからこそいつでもこの貴重なフィールドを楽しめますね。ぜひアクティビティを通して東川の自然と恵まれた環境を体感してみませんか？（つづく）

アクティビティ提供専門ショップ「HAC」
㈲アグリテック代表　中田浩康

俳句

すべすべや堀り起こされし蝮蛄の肌
曲りたる腰を二重に草を引く
圧巻の花火や残る煙の黙
夜空咲く浴衣の人と見上げけり
父と子とおんなじ背中かき氷
旧友とひと駅歩く夏の夕
ごみ拾う社会貢献芋の花
ルピナスの声はどの音ドレミファソ
夏の月川面にうつし流れゆく
夏館原始を旅する万華鏡
スマホごし孫と宿題夏休み
英単語浮かんで消えてソーダ水

石澤清宏　杉山りつ　高瀬潤　三島智　若田郁　佐々木りえ　本田咲　こばやし星来　杉山ひろのり　斎藤夕桜　山内みゆ　八田昌代

▲どんとこい祭り2022 花火大会（７月30日）

一緒に俳句を楽しみませんか
～みんなが先生でみんなが生徒～
月１回、自由で開かれた句会を開催し、俳句を心から楽しんでいます。

１２０年の伝統を受け継ぐ
東川町ヌタップ吟社
本田☎82－3952